



小鯖小学校だより 5月号

令和2年 5月 1日
山口市立小鯖小学校

【学校教育目標】 確かな学力と豊かな心を持ち、たくましく生き抜く小鯖っ子の育成

【めざす子ども像】 困：思いやりのある子 喜：さわやか元気な子 ば：ばっちり学ぶ子

コロナ、コロナ、コロナ…？！

校長 高田 修司

やっと学校が始まったと思ったら、あっという間にまた休校になってしまいました。子どもたちの歓声が響かない学校って本当に寂しいものです。

誰のせいでもないのですが、様々な行事の中止や延期、見直しも迫られており、たちまち毎年5月に実施していた運動会は、延期することを決めました。

先の見えない新型コロナウイルスとの闘いですが、今できることを考え、冷静に状況を判断し、人を責めずに励まし合い、自家製マスクを作る…？など、各自でできることはたくさんあると思います。（「上を向いて歩こう」でも口ずさんでみますか…！）

『皆さんの力で、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう！！』…Part II？

今年度の小鯖小学校重点取組事項は…？

今年度の小鯖小コミスクにおける、全ての取組で意識していただきたいキーワードは、「愛情」「かかわり合い」「凡事徹底」です。

「愛情」は、子どもたちにとってあらゆる活動のエネルギーとなります。

「かかわり合い」は、これができないと（しないと）何事も始まりません。

そして「凡事徹底」は、あたりまえのことをあたりまえにしてほしいからです。

具体的に何をどう指導していくの？という部分は、以下をご覧ください。



重点事項	実践内容（達成目標）
保護者、地域と共に歩む学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールとして、地域の伝統・文化や人材を生かした「社会に開かれた教育課程」を展開し、夢と志と郷土への愛着心を育てます。 ○学校運営協議会・熟議と学校評価を通して、多くの保護者・地域の学校運営参画を促します。 ○中学校区各校・園との連携、地域協育ネットにより、15年間の育ちをつなげていきます。
かかわり合い、認め合い、高め合う人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の3機能を生かした積極的な生徒指導を推進し、たてわり活動などの諸活動で様々な立場を経験させ、共感性と一体性、自己有用感、自己肯定感を高める取組を展開します。 ○協力しながら主体的に取り組む体験活動と、豊かな人権感覚を育む教育を充実していきます。 ○全ての児童を大切にする特別支援教育、インクルーシブ教育を推進します。 ○道徳的心情や実践力を培う道徳教育の充実を推進します。 <p>※チャレンジ目標 … ①あいさつ・返事 ②履き物そろえ ③温かな言葉遣い</p>
心身共に健康な児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○竹馬など、運動の楽しさを味わえる場面を充実させ、遊びを推奨し、体力向上をめざします。 ○姿勢指導や食育を中心に、自己管理能力を育む健康教育を推進します。
児童の学ぶ意欲の向上と確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的、対話的で深い学びを実現するため、「聞き合う」「伝え合う」などの活動を積極的に取り入れた授業を展開し、「本物の学力」を身に付けさせることをめざします。 ○「学びのスタンダード」によって学習規律を確立し、学びに向かう環境作りをめざします。 ○基礎学力の定着にむけ、家庭学習や読書のさらなる習慣化をめざします。

